



社会就労センター〔セルプ〕

石川セルプニュース



(チャンス) 障害者に働く機会を!
(チャレンジ) 挑戦する勇気を!
(チェンジ) よりよい改善を!

NO. 13

発行 石川県社会就労センター協議会
編集 広報委員会
発行責任者 表 修司
〒920-8557
金沢市本多町3丁目1番10号
(石川県社会福祉協議会内)
TEL (076) 224-1212



舞茸パック詰め作業

施設紹介

うめの木学園入所施設

当学園は、今から15年前、通所施設利用者の親の会の人達を中心に、「親亡き後も安心して暮らせる施設を。」との熱き想いが結実して出来た入所型施設です。そういう意味で、通過施設といわれている他の授産施設とはやや趣きを異にしているという感じがします。

とは言え、授産施設である以上、日中活動は作業が中心です。主な授産科目は舞茸作業で、その他に紙箱製造、ネジ組立、陶芸、工芸、農業等です。利用者の皆さんは一生懸命作業に取り組み、「もっと手当を上げてくれ!」と言います。しかし、最近の経済動向は我々の仕事にも大きな影を落としています。下請作業の減少もさることながら、主力である舞茸の価格が低迷し続け、かなりの苦戦を強いられています。いかに活路を見いだすか、これからが職員の腕の見せどころだと思います。

ところで、当園の日中活動は作業一色というわけではありません。持続して作業できない方、生

活介助を必要とする方に対しては、生きがい活動や生活支援を取り入れています。カラオケ、ビデオ鑑賞、合唱、リズムダンス、歌謡体操、バスハイク、入浴、買い物等々、作業の合間を縫って行っています。そして、これらの活動が利用者の心身をリフレッシュさせ、日常生活に潤いを与えることにもなります。

さて、今、福祉制度は転換期を迎えています。と同時に、当学園は授産施設としての転換期に差し掛かっていると思います。というのは、これまで併設の通所施設を利用されていた方達が、高齢化し、入所施設を希望するようになってきたこと、また、市内に重度者の受け皿となる施設がほとんどなく、当園へのニーズが高まっていること等を考えると、これからは、高齢者・重度者への支援が本施設の大きな柱の一つになると予想されるからです。

セルプの枠のみにとらわれるのではなく、独自性を発揮し、幅広いニーズに応えられるうめの木学園でありたいと思います。

今後共よろしく願います。

～ 翹 点 ～

Plan Do Check Action サークル

石川県社会就労センター協議会 副会長

やちぐさ作業所 施設長 浅田 平七

毎年新しい事業計画がくまれてその成果が問われている、昔から数値にこだわる性分で、その成果を相対的数字で表し前後左右比較評価するのが私の癖である。

運営に関する基準には「第23条 授産施設は、職業に従事している者に、事業収入から事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払わなければならない。」(原文のまま)とある、他の福祉施設にみられない項目である、がややもすると更生施設に似た運営になりがちである。福祉専門学校、教育の養護課程、福祉大学、のカリキュラムのなかに収益事業の教育はないわけ、勤務してみて「本当の金儲けやらなければ！」などと思っていなかった。「みんなと仲良く輪になって内職」のイメージでしかなかったひともいる。

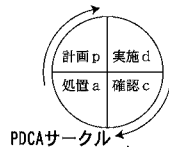
利用者もその61パーセント(7年間続けた意識調査の平均値)は工賃のアップを望んでいる。

10年前からSEL Pの意識改革が叫ばれた、各種の実業教育、マーケティングリサーチ、TQC、ほかいろいろと高度の研修を行い頑張っている、それなりの成果が上がっていると推定している(新

施設設は～6年までは上昇する)。

私の勤める職場ではそれぞれのパートの担当が前年の実績から次の数値目標をたて年間目標がたてられる。それには生産目標と生活支援目標がある。本年の生産目標は菓子360万、印刷160万、パーツ組み立て54万、出先作業68万その他で総合計728万円の純益をあげる計画である。

PDCAの管理サークルを回そうとよくいわれる。



Plan (計画) 目的目標方策を決める

Do (実施) 目標に向かって実行する

Check (確認) 結果をいろいろ調べる

Action (処置) 修正処置をとる

毎月のはじめには前月の売り上げ、純益を把握して年間計画達成に軌道修正、また生活ケース記録をまとめ異常を調べ目標と比較する。

PDCAサークルを絶えずまわし続けることが大切なことだと思っている。

情報公開の値のなかでも、支払い工賃は指導員たるものは知っている必要があるし相対的に比較し自分達の現状を把握するとともに改善の努力も必要であろう。

頑 張 っ て ま す!! (利用者の声)

やちぐさ作業所

小西 千里



私は第二作業室で内職の仕事をしています。まず寿司のふたののりづけ・ハンコ押しやタイルをしています。今は、まず寿司が大人気でよく売れていて忙しいので、まず寿司のふたの材料がたくさん届きます。粗供養の箱折りはほとんどしていません。まず寿司のふたのハンコ押しばかりしています。たまに失敗してハンコが濃くなることもあります。なるべく不良品を作らないようにしていきたいです。

今、メンバー全員暑さに負けずに頑張って作業をしています。私はもっと色々な作業を覚えたいと思います。一番好きな作業はふたの仕事です。私にとって仕事が一番大事です。

昼休みは、天気が悪かったら全員で鬼ごっこをして遊んだり、ダルマさんが転んだをやっていたが最近ではダンベル体操をして楽しんでいます。雨が降ったらトランプをしています。

やちぐさ作業所はとても楽しい施設です。メンバーみんな楽しく毎日働いています。

うめの木学園

小西 多起子



私がうめの木学園に来て13年経ちました。今まで箱貼り作業、舞茸作業などやってきて、2年前から陶芸の作業をするようになりました。陶芸をやってきて一番楽しかったのは去年の8月に金沢駅の中で、いろんな芸術家の人達に混じって自分の作品を売ることが出来たことです。

私の作品を買ってくれた人もいました。とても嬉しかったです。お客さんとも話すことが出来て楽しかったです。もっともっと私の作品が売れるようになればいいなと思って、「北國陶芸塾」にも通いました。陶芸塾では上絵付けの仕方やお皿の作り方を講師の人に教えてもらうことが出来て、とても勉強になりました。陶芸塾で教えてもらったことを作業で活かしています。ほかにも九谷焼のお店を見学させてもらったり、陶芸の本を見て、いいアイデアが浮かぶよう頑張っています。今まで鯛の形をしたお皿やクマの可愛い置き物など作って売ることが出来ました。いいアイデアが出てくる為にも、もっと勉強したいです。

私達の作品はまだまだ下手ですが、一生懸命作っています。これからいろんな所で作品を見てもらって、少しでも買ってくれるお客さんに喜んでもらえる作品をたくさん作っていきたいと思っています。

一人一人が・・・

セルフ協ならびにセルフ振興センターの運営に際しましては、日頃より格別のご配慮を賜り心よりお礼申し上げます。

平成12年度に社会福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法が改正され、福祉サービスは利用制度に向けてスタートを切りました。障害福祉サービスの利用制度化は、平成15年度から始まります支援費支給制度により具体化されます。本年度は、この支援費支給制度の大綱が決定する重要な年になります。このような状況の中、社会就労センターは自らのあり方を見つめ、施設体系、機能につきまして再確認しなければなりません。また、職員一人一人の専門性とその資質向上が求められております。

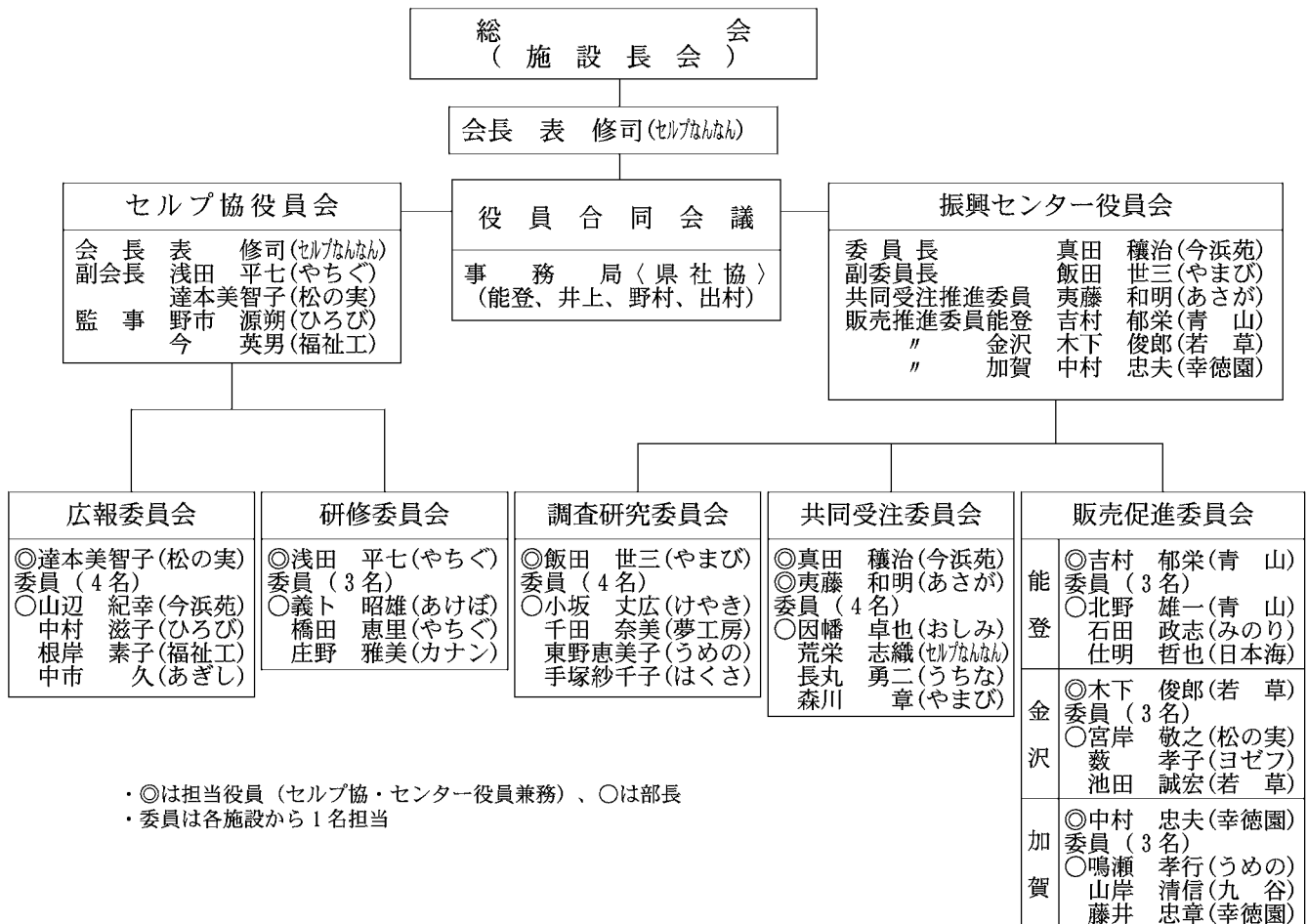
さて、昨年度は「障害者施設商品開発等推進事

石川県社会就労センター協議会 会長

セルフなんなん 施設長 表 修司

業」1年目で授産活動活性化にむけた多くの研修会や事業を実施してきました。今年度事業につきましては文書や総会等ですすでにご承知のことと思いますが、今年度は最後の年で何がしかの結果を出さなければなりません。新商品の開発や共同受注に向けての取り組み、工賃の増額、セルフの活性化につとめていかなければなりません。この会は誰のためにあるのでもない、私達の会です。もう誰かが何かをしてくれる時代ではありません。これからは一人一人が動かなければ大きな力にはなりません。利用者の経済的自立、社会参加促進に向け、互いの意見を交換しながら取り組んでいく所存でございます。皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成13年度石川県社会就労センター協議会事業推進体制



成果を出す2001年

石川県セルプ振興センター 委員長
今浜苑 施設長 真田 穰治

ここ最近“改革”と云う言葉を多く耳にする毎日ですが、平成13年4月25日の総会で決定しました。平成13年度の石川セルプ振興センターの事業計画の推進と2年目に入りました。障害者施設商品開発等推進事業の成果を発表する年度になっており、これからの1年間は多忙な年になるものと思われまますので、皆様の絶大なるご協力をお願いし立派な成果が出る事を期待しております。セルプ振興センターの事業計画には、①販売促進事業、即ちセルプショップ、フェア等における年間売上げの推進。②販売共同受注事業、即ち商品紹介パンフレットを作成し営業活動の積極的な展開をする。③調査研究事業、即ち各種イベント・大会情報を集め提供する。又売上データをもとに市場動向顧客ニーズを分析する。上記の項目を中心に年間目標である売上金額800万円を達成したいと思っております。

その他として、賛助会員の加入促進、セルプ自販機の設置推進等を考えており手数料収入の増加をはかってまいりたいと思ひます。

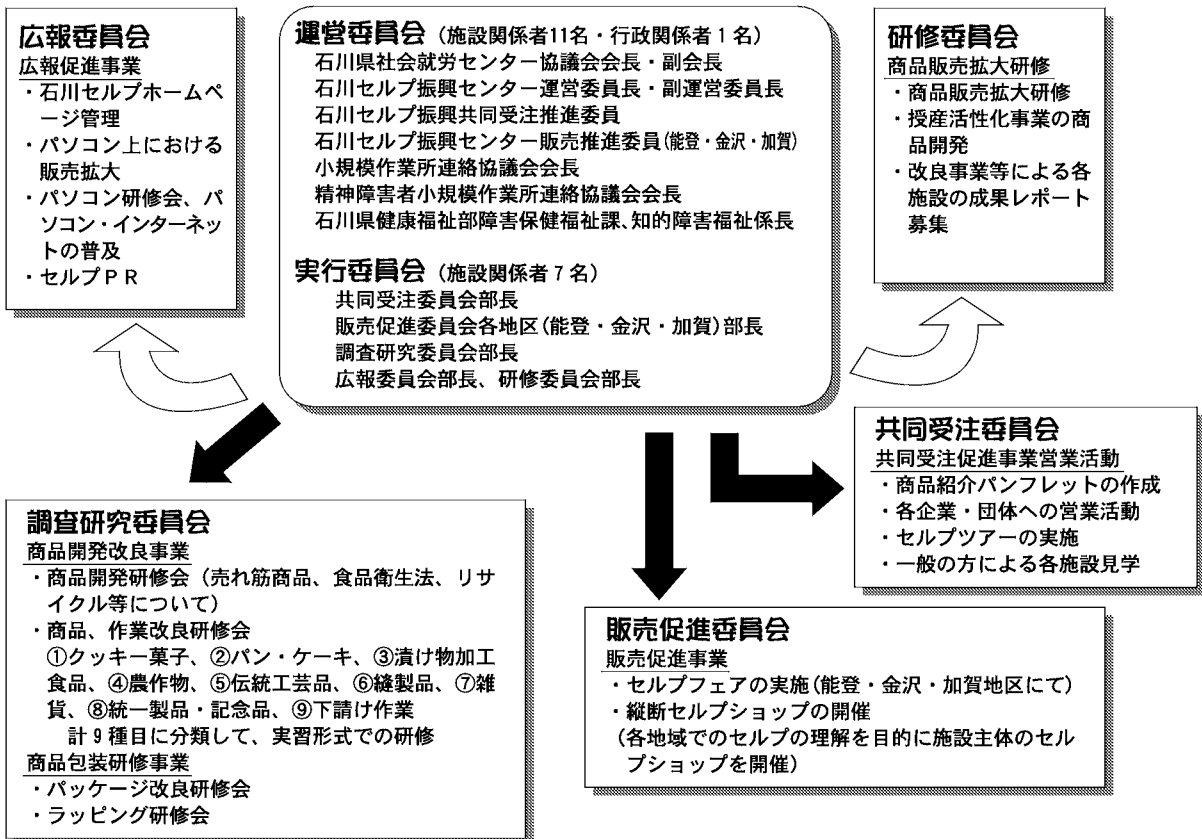
先ほども述べましたが、石川県授産活動活性化事業も最終年に入りその成果を発表する必要がありますので、今年度の“のびやか賞”の論文募集については、現在各施設で行われている商品開発、改良事業等の成果をレポートして提供頂ければ良いと思われまますので多くの応募を期待しています。昨年度においては各種のフェア、ショップの開催回数を削減し、今年度はセンター協議会事業推進体制の各委員会のメンバーを大幅削減し、職員の販売、委員会等の出席人数を少なくし効率的な運営をしたいと思ひます。

毎日が多忙ですが、精神的にも肉体的にも健康で明るい社会就労センターの職場を作っていきます。

最後になりましたが、参考として石川セルプ規約の(目的)の部分に記載させていただきますと、「本会は、県内社会就労センターの連携を深め、社会就労事業の発展と利用者の処遇向上を図るため、職員の資質向上に努め、効果的な活動を推進することを目的とする」となっております。

以上

障害者施設商品開発等推進事業内容



各委員会部長あいさつ

■販売促進委員会

【能登】

青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 北野 雄一
販売促進委員会能登地区の展開



今回、能登地区販促部長となりました、北野と申します。7月27～29日アルプラザ鹿島でのセルフフェア、8月末奥能登ショップ、中能登ショップの成功に向け活動しております。販売に力を入れますので、品切れをおこさない様、各施設にはお願いいたします。最後に笑っていただけるように・・・

【金沢】

松の実園 宮岸 敬之



今年度、金沢地区で販売促進を担当させていただきます。今年度は昨年までの半分の3人という小人数制での委員会となりました。人数が減り、今までのように多くのことはできないと思いますが、その分、委員全員で分担したり、力を合わせたりして、小人数ならではのものを創って行きたいと思っております。ご協力よろしくお願いします。

【加賀】

さてと・・・!? 鳴瀬 孝行



はじめまして。今年から、2年間販促委員会加賀地区部長をおおせつかった鳴瀬と申します。右も左も後ろもわからない事だらけで、同じ委員の人に助けられながら、フェアに向けて毎日取り組んでおります。年々とフェアの売上げが落ち込んでいるのが現状で、これを何とかしたい！ここで、さてと！何かよいアイデアがないか、皆様からのアイデア!!まっています。

■広報委員会

出発 今浜苑 山辺 紀幸



今年度より広報委員会部長になりました山辺です。翔の作成・インターネットの拡大・セルフPRと大事な仕事を、前広報委員から引き継ぎました。どのようにして、セルフをたくさんの方に伝えればよいか、正直とまどっています。でも立ち止まっているだけでは先には進めません。何事も即「行動」をキャッチコピーにし、いろいろな事を学んでいきたいと思う次第です。皆様の御協力をお願いします。

■共同受注委員会

キッチンクラブおしみず 因幡 卓也



昨年度は皆様の御協力によって、リーフレットを作成し、関係企業等へ営業、配布をすることができました。今年度も明確な目標や目的をもち、「成果」を意識し、取り組みたいと思っています。また、セルフ自販機につきましても、セルフの認知度の向上と事業運営費確保のため、皆様の御協力のもと、委員全員で頑張っており、取り組みたいと思っております。

■調査研究委員会

けやき野苑 小坂 丈広



調査研究委員会の小坂です。初めての部長、初めての委員で戸惑う事ばかりですが、先輩方のアドバイスを頂きながら、委員3人の方と力を合わせてがんばっていきたくと思っています。今年度も各種イベント大会の情報収集、石川県社会就労センター実態調査の実施、授産活動活性化事業など行う予定です。なおその際には皆様のご理解・御協力が必要です。色々ご足労おかけすると思っておりますが、何卒よろしくお願い致します。

■研修委員会

研修委員 義ト 昭雄

授産活性化事業



授産活性化事業＝700万円の話しを聞いた時に、故竹下登内閣の「ふるさと創生」の記憶が蘇った。マスコミもそれぞれの自治体の一億円の使い方をあれこれ評価した……あれから十余年、一億円はどう使っているのだろうか!! 昨年に引き続き実施されるこの事業が石川県セルフ協にとって将来「実」のあるものとなるよう研修委員の立場で尽力します。



セルプフェアのお知らせ

7/27日(金)～29日(日) アルプラザ鹿島 } に
8/24日(金)～26日(日) アピタ松任店 } て

ぜひお立ち寄り下さい!!

石川セルブ ホームページ開設 アドレス

<http://www5.nsk.ne.jp/ishikawaselp/>

旧広報委員 笠間 信彦

時代の流れは早く、インターネットが急速に広がり、世界中の色んな情報をいつでも好きな時に見ることができるようになりました。

石川セルブ協でも、県内の施設やそこで作っている商品をより多くの人にアピールしたいということでホームページを開設することになり、昨年度1年間かけて作業し、ようやく年度末の今年3月に、石川セルブとしてのホームページを開設しました。

石川セルブ トップページ



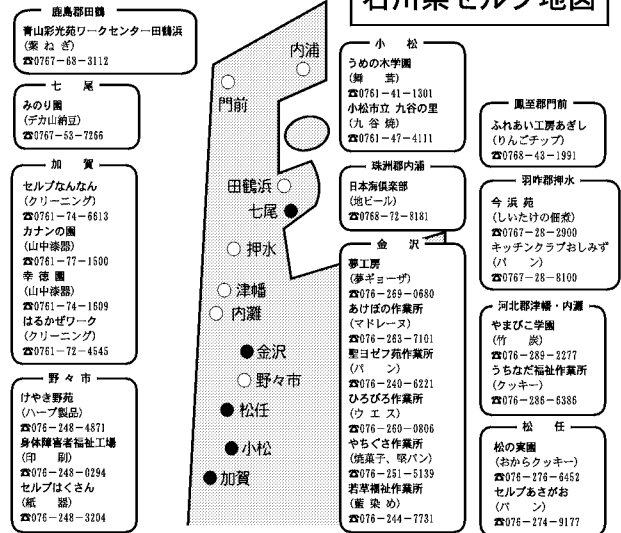
是非ホームページをご覧ください。特徴としては、施設紹介の中に施設付近の略図があり、そこをクリックすると拡大画面になり見やすい地図が出てきます。施設を訪ねたいという方に便利です。

また商品紹介では、分類ごとに様々な商品が載せられています。各商品はゆっくりとご覧になり、ご意見、ご感想……そして、ご注文をお願い致します。

編集後記

まったく経験のないメンバー4人での新たなスタートです。皆で協力しあってなんとか、今年度1回目の翔を発行する事ができました。今後とも、

石川県セルブ地図



石川セルブ振興センター

平成13年度賛助会員加入のお願い

石川セルブ振興センターは、平成9年4月石川県内の全ての知的障害者ならびに身体障害者の社会就労センター（授産施設）が共同で施設利用者の賃金の引き上げや、経済的自立を目指して設立しました。その目的を達成するために、フェア等の製品販売会や積極的な共同受注を展開するなど、数々の事業を実施しています。施設においては経済不況の中、下請作業の受注が激減し、石川セルブ振興センターによる自主製品販売会等の事業実施の重要性が増してきております。

石川セルブ振興センターの趣旨にご理解とご支援をいただき、共に事業の推進を図って下さいませ。個人・団体・企業等の賛助会員の申込みを随時受け付けております。

なお、詳細につきましては、石川セルブ振興センター事務局へお問い合わせ下さい。

- 年会費 個人 一口 3,000円
- 団体・企業 一口 10,000円
- 石川セルブ振興センター事務局
- 金沢市本多町3-1-10
- TEL 076-224-1212 FAX 076-222-8900

賛助会員加入者名（昨年度）

- 個人
 - 宮鍋 敏彦様、宮本富美枝様、岡部 範昭様
 - 田辺 紘一様、旭 良治様、角出 芳朗様
 - 畑中 敏子様、宮崎 義光様（順不同）
- 団体
 - 藤岡食料品店様、(株)アティコ様、(株)アドレス様
 - 信和産業(株)様、(株)ネスク様、(株)北陸メディア様
 - (株)井上家具様、(株)井波自動車商会様、(株)三美様
 - 白江自動車整備(株)様、(株)タカノ様、(株)横山商会様（順不同）

広報委員会の方へご意見等お寄せ下さいます様おまちしています。

(山辺)